

【特集】都民の生命・財産を守るテロ対策

(セーフシティの取組)

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会といったメガイベントの開催を控えた東京には、国内外から多くの方が訪れることが予想されています。都民の皆様や東京を訪れる方々が安心して過ごせるよう、都は様々なテロの脅威に対し、日頃から万全の危機管理体制を構築しています。

今回は、「世界一安全な都市東京の実現」に向けた、テロ対策に関する都の取組を紹介します。

① 警視庁の取組紹介

● 非常時映像伝送システムの拡充

鉄道事業者が設置している防犯カメラ映像をテロ等重大事案発生時、指令所などから警視庁に伝達し、両者で現場の状況を正確に把握することで、迅速な初動対応を可能にするなど、テロへの対処能力向上を図っています。既に事業者7社と運用開始しているほか、今年度中、更に複数事業者とシステム構築をすすめます。



【薬局とのロールプレイング型訓練の様子】

● 爆発物等を封じ込める対策の強化

爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者を個別訪問し、販売時の本人確認の徹底、盗難防止等の保管管理の強化、不審情報の通報等を要請しています。また、不審な購入者の来店等を想定したロールプレイング型訓練を実施するなど、薬局やホームセンター等と連携強化を図っています。



● 「テロ対策東京パートナーシップ」の活動

不特定多数の人が集まる公共交通機関、大規模集客施設等に対する警戒を強化するとともに、関係機関、民間事業者、地域住民と連携したネットワークである「テロ対策東京パートナーシップ推進会議」等を活用し、危機管理体制の整備を図っています。ここでは、テロ対策東京パートナーシップの主な活動について紹介します。

(1) 合同訓練

実際にテロが発生した場合や不審物が置かれた場合を想定し、テロリストを制圧する訓練や爆発物処理訓練、テロ発生時における避難誘導訓練などを実施しています。



(2) 合同パトロール

テロが発生する可能性が高い危険箇所の把握や、テロをはじめとした犯罪防止、不審者・不審物を発見することを目的とした官民による合同パトロールを実施しています。



(3) 合同研修会

最新のテロ情勢やテロ発生時に取るべき初動対応等、テロ対策に関する知識の共有を行う研修会を実施し、テロ対処能力の向上を図っています。



● テロ対策広報の実施

テロに対処していくためには、都民の危機意識の向上が必要不可欠です。不審物を発見した際は「さわるな ふむな けとばすな」の不審物発見時の三原則を守るとともに、「いつもと違う」、「何か変だな」と感じたら、迷わず警察へ通報して頂くことが大切です。

警視庁では、集客施設の大型ビジョンや公共交通機関の電光掲示、新聞、雑誌、ホームページなど、関係機関の協力を得て、積極的にテロ対策のための広報を実施しています。

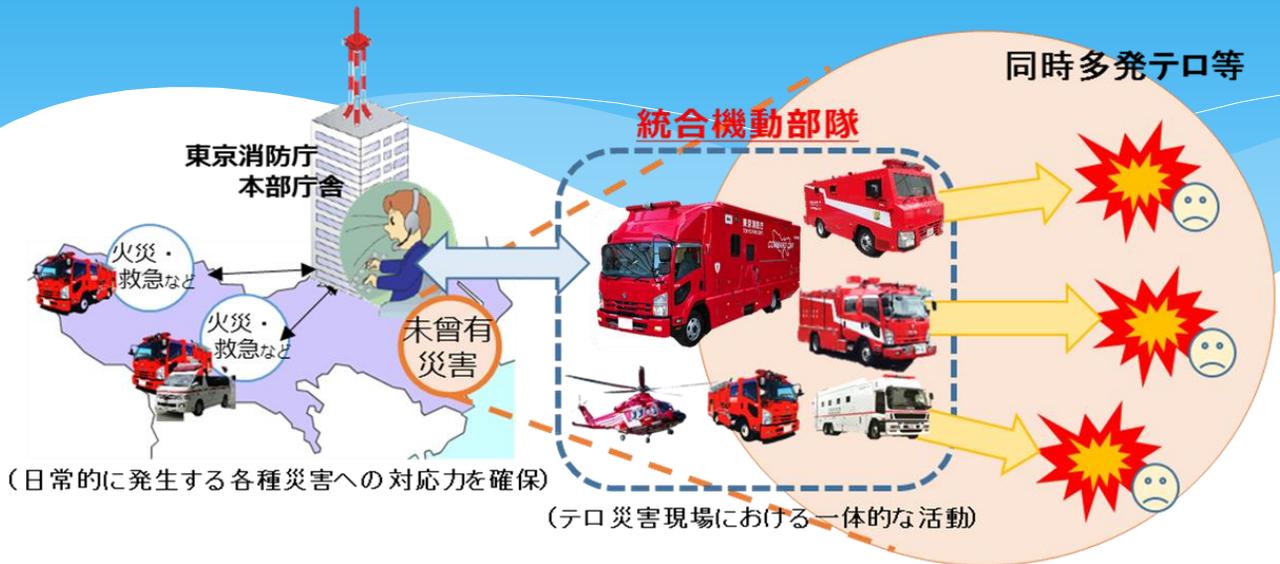


②東京消防庁の取組紹介

●「統合機動部隊」の運用開始

東京2020大会等を控え、東京消防庁はテロ等の大規模災害に対する新たな取組として、2019年4月20日に「**統合機動部隊**」を運用開始しました。

この部隊は、テロ災害を含む大規模災害発生時に多数のケガ人を迅速に救出するために、東京消防庁の消防車両等を集結し、万全な活動体制と即応体制を確保するために整備された部隊です。



「統合機動部隊」の中核となり、大規模災害における統合指揮を執る統合指揮隊は、各種通信機器等が設置され、作戦スペース等の拠点スペースが設けられた**コマンドカー**を活用し、部隊運用及び指揮機能を最大限発揮し活動します。



【コマンドカーの外観】



【コマンドカーの内観】

消防ヘリやドローン等が撮影した映像を集約し、指揮機能を強化

また、コマンドカーは災害活動だけでなく、**東京2020大会をはじめとする大規模イベント等での警戒活動の拠点としての役割**も持ち合わせており、2019年4月30日、5月1日、4日の天皇陛下御退位及び皇太子殿下御即位関連式典においても、安全・安心な行事の進行のため消防特別警戒に従事したところです。

都民の安全・安心を守るために

東京都は引き続き、テロの未然防止およびテロ発生に備えた初動対応力の充実・強化を官民協働で強力に推進し、東京に住み訪れる人たちの安全・安心を確保していきます。